

第3章

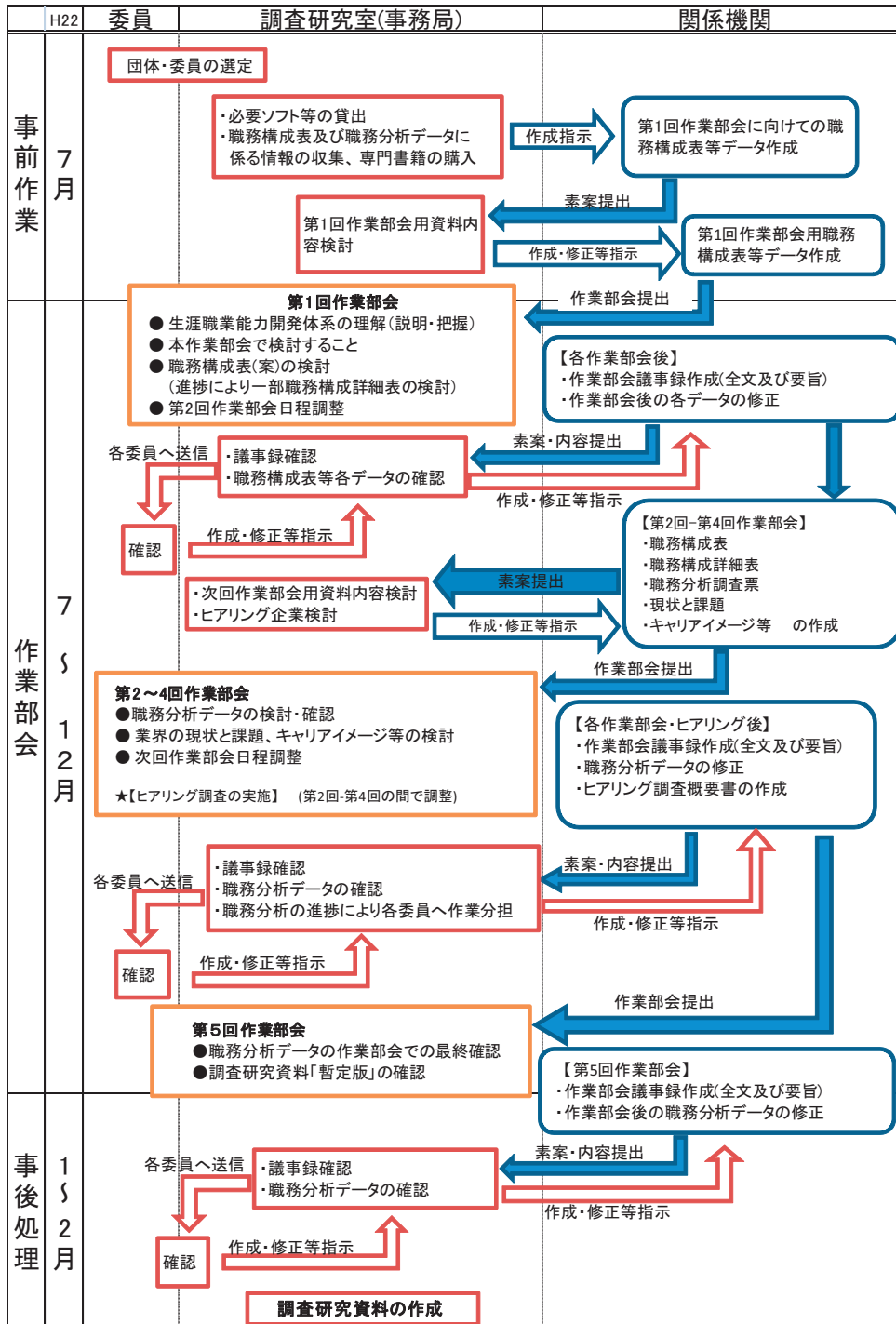
農業(野菜作農業(施設野菜))の職務分析の流れ

3-1 農業（野菜作農業（施設野菜））の職務分析に係る調査研究の流れ

職務分析を進めるにあたっては、全国農業会議所・（社）日本農業法人協会の下、専門委員（技術や技能に加え、企業内全体を管理もしくは統括している人材）による作業部会を設置し、職務の構成を検討・整理するとともに、職務毎の詳細な職務分析データ（仕事や作業の構成と内容）について検討を重ねた。

作業部会は5回開催し、職務分析で不明な点や再確認を必要とする箇所等については現地調査を実施し確認作業を行った。（図表3-1参照）

図表 3-1 野菜作農業の職務分析に係る調査研究の流れ



3-2 農業（野菜作農業(施設野菜)）の職務分析の流れ

職業能力体系(モデルデータ)を整備するにあたって、まず農業（野菜作農業(施設野菜)）の標準的な作業を確認することとした。

対象とする事業規模については、15名程度の従業員数の事業所を想定した。（第2章 図表8参照）

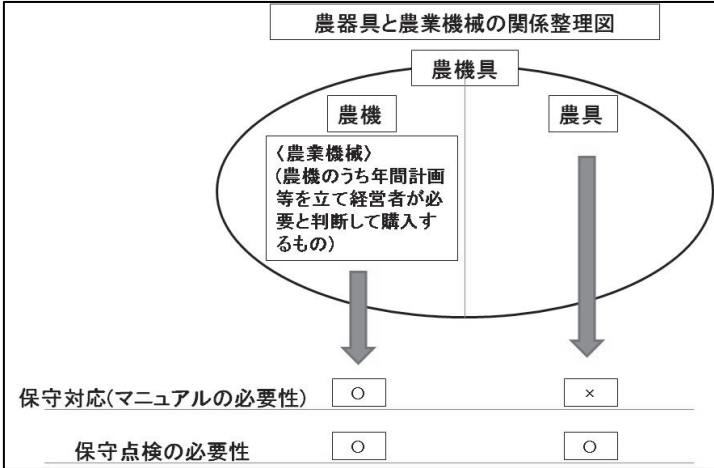
詳細な職務分析を進めるにあたっては、まず標準的な農作業工程を確認し、共通認識を持って進める必要がある。この作業工程を基本に各段階でどのような組織体制で業務を進めているかを「部門」→「職務」→「仕事」→「作業」→「作業をおこなうのに必要とされる知識、技能・技術」と細分化することで職業能力体系(モデルデータ)の整備を行った。「部門」→「職務」→「仕事」→「作業」→「作業をおこなうのに必要とされる知識、技能・技術」等生涯職業能力開発体系で扱われる用語の意味等については、第4章「生涯職業能力開発体系について」及び第5章「職業能力体系(モデルデータ)について」で詳細に扱うこととする。

3-3 農業（野菜作農業(施設野菜)）職務分析データ構築に係る 部門・職務等の概要と整理のポイント

今回作成した農業（野菜作農業(施設野菜)）に係る職業能力体系(モデルデータ)は、従業員規模が15名程度の法人とし、現場の標準的な作業工程から職務を洗い出し、名称や表現についても一般的で汎用性のある表現、もしくは、農業界標準となっているような商標・機器・固有名を用いて表現することによって、多くの事業所で活用できるよう考慮した。

しかし、専用設備や機械による仕事、勘や経験測からなる熟練技術を要する作業等については標準化できないため、各企業独自に加筆・修正を加え活用していただくことを想定している。

本調査研究の作業部会における各委員からの意見をまとめ整理した職務構成表は図表3-6のとおりであり、整理にあたってのポイントを以下に示す。

農業（野菜作農業（施設野菜））職務分析データ構築に係る整理のポイント	
部門等	整理のポイント
全体構成	<ul style="list-style-type: none"> 平成 21 年度調査研究資料(露地野菜)を基本に施設野菜で必要となる項目を洗い出した。 法人規模は、15 名程度を対象とした。 部門として大きく、「経営企画」、「管理」、「品質管理」、「営業・販売」、「栽培」の4部門とした。 施設野菜の職務分析にあたり、農機具の表現を左図のように整理して使用することとした。 受粉において「ハチ」を利用するため、「特定外来生物の使用許可・申請」、「ハチ利用技術」、「ハチの管理」などをそれぞれ関係する職務等で網羅した。 施設栽培において、栽培に使用する農機については「農機具」という表現に統一した。ただし「栽培」において、年間予算計画に基づいて導入する農機等については、「農業機械」という表現を用いた。 <div style="text-align: center;">  <p>農器具と農業機械の関係整理図</p> <p>農機具</p> <p>農機 農具</p> <p>〈農業機械〉 (農機のうち年間計画等を立て経営者が必要と判断して購入するもの)</p> <p>保守対応(マニュアルの必要性) ○ ×</p> <p>保守点検の必要性 ○ ○</p> </div>
経営企画	<ul style="list-style-type: none"> 職務は「経営企画」の1つとし、仕事として「露地野菜」と同様の「経営分析・戦略」、「経営管理」に加え、「情報化マネジメント」、「ハウス建設計画」、「環境制御設備計画」、「農業機械導入計画」、「農地・ハウス利活用戦略」、「外注」の8つに分類した。 経営企画としての「情報化マネジメント」は、「情報化の推進」、「情報発信企画」など、特にマネジメントの要素とし、具体的な運用については、総務の仕事として設定した。 職務「品質管理」の仕事「品質保持」の作業項目として「トレーサビリティ」を新規に設定した。
管理	<ul style="list-style-type: none"> 「管理」の職務は「総務」、「経理」、「資材調達」の3つとした。 外国からの購入物が多いことから、為替に関する内容を記載した。
品質管理	<ul style="list-style-type: none"> 職務は、「品質管理」の1つとし、仕事として「品質保証」、「品質保持」、「危機管理」、「リスクマネジメント」の4つに分類した。
営業・販売	<ul style="list-style-type: none"> 「営業・販売」の職務は「商品開発」「企画」「卸販売」「産直販売」の4つに分類した。 商品開発は、品種の選定、組み合わせ、付加価値化等の検討が必要となるためレベルの高い仕事として設定した。

<p>栽培部門</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部門 2 を「栽培管理」、「果菜類(養液栽培)」、「果菜類(土耕栽培)」、「葉茎菜類(養液栽培)」、「葉茎菜類(土耕栽培)」、「出荷」の 6 つに分類した。 ・ 「栽培管理」の職務として、「栽培管理」、「安全・衛生管理」、「環境配慮」、「農機具等保守点検」、「ハウス等保守点検」、「栽培設備管理」、「段取り」を設けた。 ・ 果菜類及び葉茎菜類ではまず、養液栽培と土耕栽培に分類し、それぞれについて職務「育苗」、「栽培準備」、「栽培」を設定した。 ・ 「果菜類(養液栽培)」、「果菜類(土耕栽培)」について職務分析を行い、これをベースに「葉茎菜類(養液栽培)」、「葉茎菜類(土耕栽培)」の職務分析を行った。 ・ 養液栽培における床土は「培地」、土耕栽培における床土は「培土」とした。 ・ 「栽培管理」では、ハウスの建設から始まり、ハウス内の環境管理の視点で整理した。 ・ 「除草」の対応については、ハウス内外で対応方法が異なるため職務「栽培管理」及び職務「栽培」においてそれぞれ整理した。 ・ 施設栽培における「ハウス」の主要構成材として「ビニール(ビニールハウス)」を想像しやすいが、他の材料も多く使用するため、「被覆材」という表現に統一した。 ・ 「耕耘」では様々な作業機を使用するが、プラウ、チゼルプラウ、ロータリー、トレンチャ、サブソイラ、ディスクハロー等個別の表現は用いず、「作業機」とした。 ・ 「ハウス等保守点検」では、保守点検、補修・交換、補強、張替えの観点から整理した。 ・ 「育苗」の仕事項目である「種まき・発芽」と「播種(種まき、親苗)」は同じ内容であることから「播種」に統合した。 ・ 「仮植え」、「鉢上げ」、「移植」は同じ内容なので整理した。 ・ 仕事「生育調整」は、「植調剤による生育調整」と「葉面散布(肥料等)による生育調整」の 2 つの作業項目に分けて整理した。 ・ 仕事「除草作業」については、薬剤を使用する項目は部門「栽培管理」で扱い、手作業部分の項目は部門「栽培」で扱うこととした。 ・ 葉茎菜類では「定植」、「間引き」は行わないため削除した。 ・ 職務「出荷調整」の「仕事」に「目揃え」と「検品」を設定し、規格調整や規格に合わせた検品と詰め直しの項目などを記載した。 ・ 「出荷」については、「配送計画」⇒「出荷」⇒「納品」⇒「返品クレーム対応」⇒「ロット管理」の視点から仕事や作業を整理するとともに、受注内容の確認、速やかなクレーム対応やクレーム分析、在庫に係る「自社での配送計画」等にも対応した内容を記載した。
-------------	--

図表 3-2 農業（野菜作農業（施設野菜））職務構成表

職務構成表				
団体または企業名	部門1	部門2	職務名	
野菜作農業(施設野菜(施設野菜))	経営企画		経営企画	
	管理	総務	総務	
			人事・労務管理	
			施設・農機具等管理	
			経理	
			財務・予算管理	
		資材調達	原価管理	
			購買	
			品質管理	
			営業・販売	商品開発
				企画
	卸販売			
	産直販売			
	栽培	栽培管理		栽培管理
			安全・衛生管理	
			環境配慮	
			農機具等保守点検	
			ハウス等保守点検	
			栽培設備管理	
			段取り	
			果菜類(養液栽培)	育苗
				栽培準備(養液栽培)
				栽培
		果菜類(土耕栽培)	育苗	
			栽培準備(土耕栽培)	
			栽培	
		葉茎菜類(養液栽培)	育苗	
			栽培準備(養液栽培)	
			栽培	
		葉茎菜類(土耕栽培)	育苗	
			栽培準備(土耕栽培)	
栽培				
出荷		出荷調整加工		
		出荷		